社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和06年03月12日

計画の名称	ひとと黒部の恵みが寄りそう重点道の駅（仮称）くろべの整備促進		
計画の期間	平成３０年度　～　令和０３年度　(4年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	黒部市,富山県		
計画の目標	平成28年1月に県内初の重点「道の駅」に選定された重点道の駅「（仮称）くろべ」は、県内東部のアクセス道路である国道8号及び県道石田前沢線が交差する箇所に位置する。 現在、国道8号の沿線に、ドライバーが気楽に立ち寄れる「道の駅」は、「カモンパーク新湊」から新潟県の「越後市振の関」の約70km間に存在せず、また、当該路線は約20,000台/日以上通過する県内有数の路線であり、また年々大型車が増加していることから、長距離運転及び大型トラックのドライバーに係る身体的負担等が大きくなっており、事故等の増加が懸念されている。 このような中、国道8号沿線に道の駅「（仮称）くろべ」を整備することを「第二次黒部市総合振興計画」に位置付け、国道8号の道路利用者はもとより県道・市道利用者の休憩と憩いの場として、また本市の魅力や観光情報等の発信、防災活動の拠点、交流の拠点等を整備することにより、周辺及び隣接する既存の施設等との一体的な利用の促進を図り、地域活性化に資する魅力ある「道の駅」の整備を目指す。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,478	A	1,478	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	(H32末)	(供用後)
1	道の駅「（仮称）くろべ」、周辺施設「黒部市総合公園」及び「アクアパーク」等の利用者数（年間）を600千人/年から900千人/年へ拡大			
	道の駅「（仮称）くろべ」、周辺施設「黒部市総合公園」及び「アクアパーク」等の利用者数（年間）	600千人/年	750千人/年	900千人/年

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

案件番号：　0000556630

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H30	H31	R02	R03	R04	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	黒部市	直接	黒部市	市町村道	改築	（１）堀切６号線他（道の駅整備事業）	現道拡幅、駐車場整備など 1.4ha	黒部市	■	■	■	■		1,174		―
	A01-002	道路	一般	黒部市	直接	黒部市	市町村道	新設	（他）堀切18号線	道路改築　0.2km、駐車場整備など	黒部市	■	■	■	■		91		―
	A01-003	道路	一般	黒部市	直接	黒部市	市町村道	新設	（他）堀切立野線	道路改築　0.11km、駐車場整備など	黒部市	■	■	■	■		50		―
	A01-004	道路	一般	黒部市	直接	黒部市	市町村道	改築	（他）立野６号線	現道拡幅　0.25km、駐車場整備など	黒部市	■	■	■	■		83		―
	A01-005	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府県道	改築	（一）石田前沢線　堀切	交差点改良　0.4km	黒部市		■	■	■		80		―
											小計						1,478		
											合計						1,478		

案件番号：　0000556630

事　後　評　価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 黒部市にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和６年３月 公表の方法 黒部市のホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・重点道の駅「KOKOくろべ」へのアクセス道路である（一）石田前沢線において、右左折レーンを整備したことにより、道の駅利用者と通過交通が分離され、交通渋滞の緩和に寄与された ・道の駅のアクセス道路を整備したことにより、交通結節点として市街地への交通手段や、観光客や利用者の利便性を向上した
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
・本計画完了後も引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、道の駅の利便性向上を図るため計画的に道路整備を進めていく	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最　終 目標値	900千人/年	道の駅および周辺施設の利用者数において、道路整備の事業効果が発揮され最終目標値を達成することができた。
	最　終 実績値	1350千人/年	